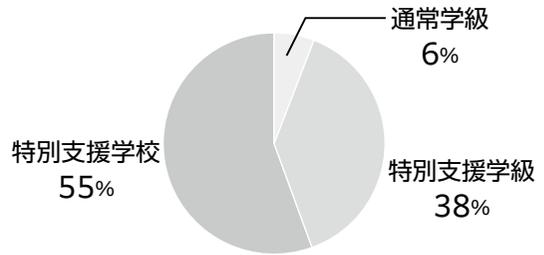


毎年JDSでは、小学校新2年生のお子さんがいるご家庭にアンケートをお願いしています。今年は47名が回答してくださいました。「就学」を前に、知っておきたいことを集計し、就学相談が始まるころお届けしています。全体の集計は、コメントも含めて、「就学アンケート記述集」を無料配布をしています（詳細は17ページを参照）、会報では就学先の選び方を中心に、内容を抜粋・まとめてお伝えします。

現在、お子さんが在籍している学校・学級は？



当初、希望した学校は、何を重視して選びましたか？ (複数回答可)

●子どもが楽しく通える

特別支援学級 1位 (12人) 特別支援学校 3位 (6人)

●子どもの発達状態に合わせた支援が得られる

特別支援学級 2位 (9人) 特別支援学校 1位 (16人)

●子どもへの支援の手厚さ

特別支援学級 4位 (6人) 特別支援学校 2位 (13人)

特別支援学級 同着3位 家から近い/障がいの有無にかかわらずともに学び遊ぶ経験をさせたい/障がいの有無にかかわらずともに学び遊ぶ経験をさせたい

特別支援学校 4位 (6人) 登下校がしやすい(送迎バスがあるなど)

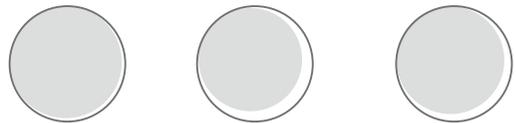
希望通りに就学できましたか？

主在籍校種	できた	どちらとも言えない	できなかった	その他
普通学級	3人	0人	0人	0人
特別支援学級	14人	2人	1人	1人
特別支援学校	24人	2人	0人	0人

在籍している学校の教育環境に満足していますか？

5点満点中の満足度平均得点

普通学級 4.67 特別支援学級 3.94 特別支援学校 4.38



特別支援学級に主に在籍している方：学校全体が参加する行事以外で、通常学級とどの時間に「交流」していますか？ (複数回答可)

時間	人数	時間	人数
音楽	12人	なし	3人
体育	11人	国語	1人
図工	11人	算数	1人
朝の会、帰りの会	5人	その他	6人
給食	4人	回答者数	54人

特別支援学校に在籍している方：通常学校との交流回数、交流内容について記述してください

回答をまとめると、以下のような意見が多くありました。

1. 年に3回程度の交流

- ・附属小学校や地域の地元小学校との交流(自己紹介、歌、ダンス、玉入れなど)
- ・レクリエーション活動(焼き芋、体育館遊び、中学生との遊び)
- ・ゲームやダンスの共同活動
- ・学年だよりや定期通信の交換(複籍制度を利用したお便り交換を含む)

2. 月に1~2回の交流

- ・朝の会・帰りの会への参加
- ・放課後広場への訪問
- ・音楽や体育の授業への参加

3. 年に1~2回の交流

- ・近隣の小学校での交流会(遊びの時間やリモート交流)
- ・体育やレクリエーションの共同活動(ダンス、パラバルーン、ゲーム)
- ・お便りの交換(1年生時はお便りのみ、2年生からイベントや授業参加を検討)

4. 交流がない、または希望しないケース

- ・家庭の希望で交流をしていない
- ・入学時に「交流しない」選択肢を選んだ

今回のアンケート 基礎情報 回答 47人中

【男女比率】

男の子 29人

女の子 18人

【回答のあった地域】

北海道・東北地方 0人

関東地方 28人

中部地方 5人

近畿地方 5人

中国地方 4人

四国地方 1人

九州・沖縄地方 4人

合計 47人

【学校の選択について】

お住まいの市区町村（行政、教育委員会）の
就学相談に参加しましたか？

主在籍校種	はい	いいえ	相談した割合
普通学級	2人	1人	67%
特別支援学級	17人	1人	94%
特別支援学校	23人	3人	88%

就学相談に関しては、「参加しない予定だったが、学校側から参加するよう言われた。支援校、支援学級を勧められた。」「何段階も親子でいかなければいけないので、大変だった。パート勤務だったので何とかできた!」という消極的な意見もありますが、「当初から支援学校に絞っていたので、あまり悩まずに進めることができました。相談員さんも積極的に当時通っていたこども園に見学に来てくださったり、私達の思いや希望を否定する事なく、同じ方向で考えくださりありがたかったです。」という意見も。地域や相談員によって差は大きくありそうですが、就学相談だけで就学先が決まるわけではないので、一度行ってみると、その後の選択肢が広がるということもあるようです。

学相談以外で就学について
相談する催しに参加しましたか？

主在籍校種	参加していない	障害者団体主催の催しに参加した	特別支援学校主催の催しに参加した
普通学級	0人	0人	1人
特別支援学級	3人	6人	8人
特別支援学校	7人	4人	14人

その他もあり、児童発達支援の事業所の催し、JDS支部の就学相談、区の相談会が上がっていました。

行政、教育委員会、学校に
個別に相談をした経験はありますか？

人数は多くありませんが、個別の相談に行った人たちも。それぞれ、お子さんの個性についてのまさに個別な相談を、よく聞いてくれたというところもありましたが、逆に、「相談しようとしたが、それぞれ学校は教育委員会、教育委員会は行政、行政は学校に相談するよういっただけで相談できなかった。」というケースも。ここにも、地域・行政によつての違いはあるようです。

就学先決定の過程について、
就学先別に大事だったこと まとめ

■ 通常学級を選ぶときに大事だったこと

○地域・周囲とのつながりがとても大切

「保育園でのお友だちや、地域の方と顔見知りになれることを願って地元の学校に進学しました。支援の先生やお友だちに恵まれたこともあり、想像以上にスムーズな就学になりました。」

通常学級を選択した先輩保護者のサポートを受けたこと、地域の児童との交流といった意見も。

■ 特別支援学級を選ぶときに大事だったこと

1. 見学・相談を充実したこと

○複数の学校を見学し、それぞれの特徴を知ることができた。

2. 支援と環境の選択肢が広がったこと

○必ずしも「支援学級が絶対」というわけではなく、子どもの状況に合わせて選択肢ができた。

3. 地域との交流と情報共有の大切さ

○親の会で保護者同士が情報交換をし、先輩保護者の話を聞いてイメージを持つことができた。

■ 特別支援学校を選ぶ過程で大事だったこと

1. 事前の準備と家族の話し合いが重要

○就学相談前に夫婦でしっかり話し合い、保護者としての希望を擦り合わせたことで迷いが少なく、気持ちが楽だった。

○学校公開などを利用し、授業や先生、生徒の様子を確認し、意向を固めてから就学相談を受けたことで、希望を明確に伝えられた。

2. あらゆる選択肢を見学して情報収集したこと

○支援学級・支援学校・附属特別支援学校の見学を行い、それぞれの特徴を把握した。

○何度も同じ学校に見学へ行き、環境の理解を深めた。

3. 本人の負担を考えた選択をしたこと

○体力の問題を考慮し、通学が負担にならないよう配慮した。

○負担なく楽しく通学できることを最優先に考えて選択した。

4. 個別相談や情報収集の充実

○個別相談ができたことで、発達状況や支援希望に関する細かい質問ができ、安心できた。

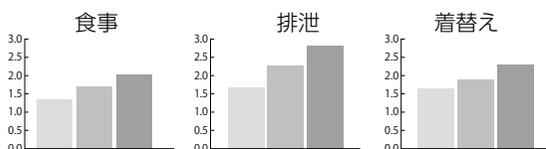
どの就学先を選ぶ際にも、事前に家族での話し合いをすることは、その後の方針を固めていくときに必要な過程のようです。また、通える範囲での選択肢をできるだ

け実際に見学することや、地域の先輩方の話を聞くことが、就学の時には役立ちます。何よりも、お子さんの個性や体力を優先して考えながら、何度も情報収集を行い、納得できる選択につなげることが大切だと、今回のアンケートからはわかります。

就学当時のお子さんの状況について

入学当時のお子さんの身辺自立

以下は、食事、排泄、着替えについて介助必要度を聞き、5を全介助としたときの平均値です。全体を平均すると、いずれも3以下の介助必要度で、身辺自立については僅差であることが伺えます。



合併症はありますか？ (複数回答可)

通常学級は、全員「なし」。

特別支援学級は、てんかん、甲状腺機能低下症、弱視、扁平足、頸椎環軸関節亜脱臼、咀嚼困難。

特別支援学校は、鎖肛、胆道拡張症、甲状腺機能低下症、鼠径ヘルニア、ウエスト症候群、難聴、体幹が弱い(身体障害手帳体幹3級)、停留精巣。

以上が挙げられました。

就学についてのアドバイス

今回のアンケートから、どの方も本当によく悩まれたのだと、深く共感しながら拝見しました。どこを選ぶのが正解かはわかりませんが、一番大切なのは「わが子が安心して通えるかどうか」だと改めて感じています。見学や相談を重ねて納得できたという声が印象的でした。私の場合も、子どもと一緒に学校を見学し、通学のしやすさや学校の雰囲気を確認しました。いろいろな学校を見て、トイレや下駄箱の使いやすさ、通学ルートなど複数の観点を確認して、家族で話し合っ決めてました。担任の先生との相性など、入学前には見えないこともあります。困ったときに相談できる雰囲気があるかどうか大切なポイントだと思います。未来を予測することはとても難しいので、迷うのは当然です。「わが子まんなか」の視点で、選んでみてください。

「就学アンケート」記述集お申込み方法

- 郵送の場合 (1部500円・送料込実費)
事務所まで、メールまたはFAXでお申し込みください。
- PDFデータの場合 (無料)
boshu@jdss.or.jp へ表題に「就学アンケート記述集希望」、本文にお名前と会員番号をお書きの上メールしてください。